

「北海道価値創造パートナーシップ会議」 20150308  
スザンネ クリーン 北海道大学現代日本学プログラム

① 食と観光：

付加価値（イノベーション）でグローバル水準とローカル固有性の **best fit**



中田サッカー選手が海外向けにブランド化した酒（高木酒造）

出典：

<http://www.spoon-tamago.com/2013/06/19/japanese-soccer-star-nakata-hidetoshi-to-produce-limited-edition-designer-sake/>

## ULA

ULA steht für moderne japanische Küche, sowie Galerie. Hier verwandelt sich traditionelle Esskultur in harmonische Kreationen. Empfehlungen des Hauses sind Rinderfiletsteaks und Aburi-Sushi. Küchenchef Daisuke Nakashima schärfte seine Sinne in den vergangenen acht Jahren im renommierten Restaurant Kiccho. Nun zeigt er seine Kunst im ULA. Exquisite Menüfreuden in einer Atmosphäre echter japanischer Gastfreundschaft.

*ULA stands for modern Japanese cuisine, bar and gallery. Here is where traditional food culture morphs into harmonic creations. Recommendations of the house are the fillet of beef and Aburi sushi. Chef Daisuke Nakashima sharpened his senses during the past eight years at the renowned restaurant Kiccho. Now he is presenting his art in ULA. Exquisite delicacies in an atmosphere of real Japanese hospitality.*

ULA | Japanese | Traditional Kitchen | Vegan  
Anklamer Strasse 8 | Mitte  
[www.ulaberlin.jimdo.com](http://www.ulaberlin.jimdo.com) | +49 (0)30 89 37 95 70



「カクテルトマトの手巻寿司」

出典：<http://ulaberlin.jimdo.com/>

### ②ワークライフバランス：ビジョン、イノベーション、多様性

ソフト面での「北海道スタンダード」の設立：高いライフクオリティと競争率を目指す先駆的な仕事の仕方と充実しているレジャーで北海道の魅力を更にアップ。北海道を拠点に日本のワークライフバランスを総合的に考え直し、持続可能な社会モデルを提示。

一人当たりの実労働時間／国際比較

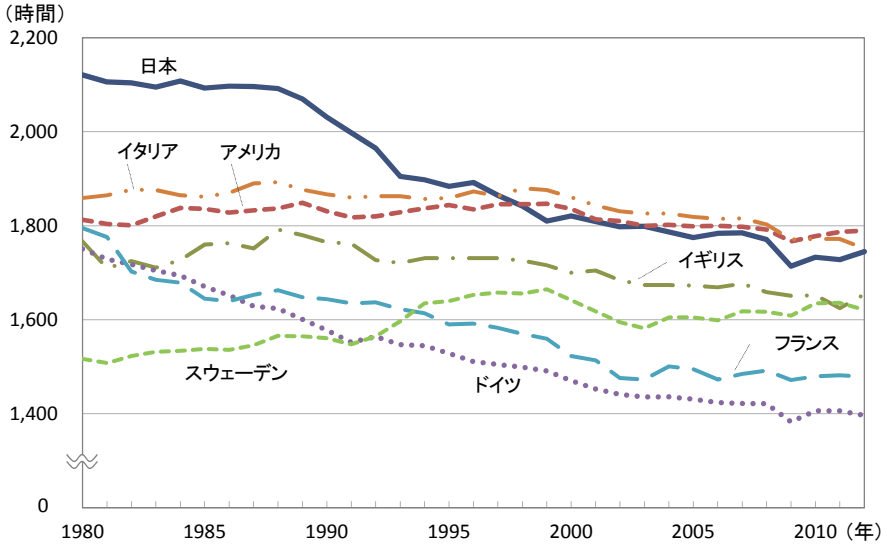
出典：[http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2014/06/p197\\_6-1.pdf](http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2014/06/p197_6-1.pdf)

労働政策研究所研修機構データブック国際労働比較 2014

国別ノーベル賞受賞者数ランキング（10人以上の国のみ）

1位	アメリカ	350人
2位	イギリス	123
3位	ドイツ	105
4位	フランス	61
5位	スウェーデン	29
6位	スイス	25
7位	ロシア・ソビエト連邦	23
8位	日本	22
	カナダ	22
9位	オーストリア	21
10位	イタリア	20
11位	オランダ	19
14位	イスラエル	12
	オーストラリア	12
15位	ベルギー	10

## 6-1 一人当たり平均年間総実労働時間（就業者）



▶ グラフの直近の具体的な数値及び資料出所については、「第6-1表 一人当たり平均年間総実労働時間」(p.199)を参照。

日本の平均年間総実労働時間（就業者）を中期的にみると、1988年の改正労働基準法の施行を契機に労働時間は着実に減少を続け、2009年には1,714時間を記録した。その後、若干増加し、2012年には1,745時間となった。主要諸外国についても減少、横ばい傾向となっており、2012年にはイタリアで1,752時間、アメリカで1,790時間、イギリスで1,654時間、スウェーデンで1,621時間、フランスで1,479時間、ドイツで1,397時間などとなっている。

なお、データは一国の時系列比較のために作成されており、データ源の違いから特定年の平均年間労働時間水準の各国間比較には適さないことに留意する必要がある。